

## 宇宙通信アドバイザーボード（第2回）議事要旨

日時：令和6年3月19日（火）10：00～11：30

場所：中央合同庁舎2号館 9階 総務省 903会議室 及び WEB会議

出席者：梅比良座長、石田構成員、加保構成員（オンライン参加）、小塚構成員、  
小紫構成員、藤本構成員

### 議題

- （1）宇宙戦略基金の実施テーマの考え方
- （2）宇宙戦略基金を活用した今後の取組の方向性

### 議事要旨

梅比良座長により、議題に沿って議事を進行。

「議題（1）宇宙戦略基金の実施テーマの考え方」について、宇宙通信アドバイザーボード事務局（以下「事務局」という。）より説明が行われ、その後、各構成員より技術開発実施内容、支援期間、支援規模に対する質問が行われた他、対象事業者の評価・審査の観点等に対して助言がなされた。

「議題（2）宇宙戦略基金を活用した今後の取組の方向性」について、事務局より説明が行われ、各構成員より各々の専門的な知見からの意見が述べられた。主な内容は以下のとおり。

- 宇宙通信分野における今後の取組の方向性を議論していくにあたっては、競争政策、安全保障、産業振興の観点を踏まえる必要があるのではないか。
- 既存の宇宙開発プレーヤーだけでなく、非宇宙分野からの参入を促す仕組みや支援が必要ではないか。

- グローバルな展開が期待できる尖った技術への投資が必要ではないか。
- 静止衛星と非静止衛星との関係性について、現状では静止衛星の市場構造は安定的と言えるかもしれないが、低軌道衛星コンステの今後の展開次第で大きく変化する可能性がある。非静止衛星が主流になる状況も想定して検討をすべきではないか。

以上